

E014

白滝公園の小型溶岩塚（テュムラス）（静岡県GEO
DATA(8)：地学散歩(87))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 増島, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024607

E014 白滝公園の小型溶岩塚 (テムラス)



国土地理院 1:25,000 三島

東海道本線三島駅周辺には新富士火山旧期溶岩流の一つ「三島溶岩・上部層」が広く分布している。約1万年前に流下した三島溶岩上部層はこの付近で止まったために、溶岩塚の高まりを多数形成した。

溶岩塚のほとんど全ては歴史時代の人工改変(採石や整地)により、原形を損なっている。本溶岩塚は江戸時代寺社の境内にあったことと、長さ6m程度と小型のため採石の対象にならず奇跡的に原形を保っている。

表面には膨張亀裂が発達し、中央部の亀裂は溶岩の流動方向を示すとされている。溶岩塚周辺では縄状溶岩、重なり合う溶岩単層の

隙間(湧き間)からの湧水、溶岩塚表面単層を切り取り造られた石橋、2,900年前の富士山大崩壊によって発生した御殿場泥流起源の大きな垂角礫なども観察できる。(増島 淳)